

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 サクサホールディングス株式会社
 コード番号 6675 URL <http://www.saxa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 吉岡 正紀
 (氏名) 井上 洋一

TEL 03-5791-5511

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	8,200	△13.8	△329	—	△349	—	△119	—
21年3月期第1四半期	9,514	—	△508	—	△420	—	△367	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△1.97	—
21年3月期第1四半期	△6.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	42,958	22,735	52.4	370.74
21年3月期	43,875	22,625	51.0	368.63

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 22,515百万円 21年3月期 22,387百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無
 現時点では、22年3月期配当予想額は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	19,000	△12.7	100	—	0	—	0	—	0.00
通期	43,000	△2.1	700	—	500	—	200	—	3.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	62,449,621株	21年3月期	62,449,621株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	1,717,150株	21年3月期	1,716,089株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	60,733,066株	21年3月期第1四半期	60,754,364株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国の経済においては、世界的な金融危機の影響を受けた急速な景気悪化も底入れ感が出てきたとの見方が一部にはありますが、先行きには引き続き強く不透明感が残されております。

当企業グループの主力市場である情報通信ネットワーク関連市場においては、光ネットワークの普及に対応した新しい取組みが進んでおります。

当企業グループは、このような事業環境の急激な変化に対応し「独創的な技術力・開発力を駆使できる革新的企業」を目指して、「事業の拡大」と「経営体質の強化」の諸施策に継続して取り組んでまいりました。

「事業の拡大」につきましては、ネットワークソリューション分野およびセキュリティソリューション分野の主力市場において、事業の選択と集中を進める中で、次世代ネットワークなどに対応した両分野の融合商品を早期に開発、販売するための取組みを継続して推進してまいりました。その一環として、事業の拡大と収益力の向上を図り、早期に事業を変革することを目的に、事業中核会社のサクサ株式会社の組織を機能別組織に再編いたしました。

「経営体質の強化」につきましては、平成21年2月6日に公表した経営改善施策の実施により、外部流出費用の削減、開発効率の向上など総原価の低減に努めてまいりました。また、平成21年4月1日付で、子会社であるコビシ電機株式会社とユニオン電機株式会社を合併させ、サクサプレジジョン株式会社といたしました。これにより、両社の開発、製造および販売機能を一体化させ、経営基盤の強化、経営効率の向上を図ってまいりました。

当第1四半期の売上高は、82億円(前年同期比 13.8%減)となりました。利益面では、総原価の低減に努めましたが、経常損失が3億4千9百万円(前年同期経常損失4億2千万円)、四半期純損失は1億1千9百万円(前年同期純損失3億6千7百万円)となりました。

分野別の営業の概況は、次のとおりです。

① ネットワークソリューション分野

ネットワークソリューション分野の売上高は、42億7千7百万円(前年同期比 0.6%減)と、ほぼ前年同期並みとなりました。

② セキュリティソリューション分野

セキュリティソリューション分野の売上高は、39億2千3百万円(前年同期比 24.7%減)となりました。これはICカードリーダーライタの減少および加工受託している部品などが減少したことによるものです。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億1千万円増加し227億3千5百万円となり、総資産は、9億1千6百万円減少し429億5千8百万円となりました。その結果、自己資本比率は52.4%となり、1.4ポイント改善いたしました。

増減の主なものは、以下のとおりです。

資産では、現金及び預金が4億5千8百万円、仕掛品が4億8千万円とそれぞれ増加いたしました。受取手形及び売掛金は回収が進んだことにより20億1千8百万円減少いたしました。

負債では、支払手形及び買掛金が4億4千3百万円、未払費用が4億1千5百万円とそれぞれ減少いたしました。

純資産では、利益剰余金が1億1千9百万円減少いたしました。評価・換算差額等が2億4千8百万円増加いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

売上高および利益については、概ね当初の予想どおりに推移しておりますので、平成21年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
会計方針の変更

工事契約に関する会計基準等の適用

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)および「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について、成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、この変更による当第1四半期連結会計期間の損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,655	5,196
受取手形及び売掛金	7,669	9,688
商品及び製品	2,557	2,374
仕掛品	1,004	523
原材料及び貯蔵品	2,695	2,860
繰延税金資産	1,321	1,192
その他	948	852
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	21,851	22,685
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,086	9,086
その他(純額)	3,326	3,459
有形固定資産合計	12,413	12,546
無形固定資産		
ソフトウェア	4,474	4,703
のれん	559	576
その他	232	244
無形固定資産合計	5,265	5,524
投資その他の資産	3,405	3,088
固定資産合計	21,083	21,159
繰延資産	24	30
資産合計	42,958	43,875

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,482	4,925
短期借入金	3,599	3,428
1年内償還予定の社債	2,065	2,090
未払金	428	832
未払費用	765	1,180
未払法人税等	27	69
未払消費税等	143	221
製品保証引当金	255	255
その他	753	455
流動負債合計	12,521	13,461
固定負債		
社債	469	469
長期借入金	459	635
繰延税金負債	1,458	1,469
退職給付引当金	3,136	2,944
役員退職慰労引当金	52	89
負ののれん	1,294	1,362
その他	831	818
固定負債合計	7,702	7,788
負債合計	20,223	21,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,331	6,331
利益剰余金	6,490	6,610
自己株式	△1,088	△1,088
株主資本合計	22,570	22,690
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△61	△310
為替換算調整勘定	7	7
評価・換算差額等合計	△54	△302
少数株主持分	219	237
純資産合計	22,735	22,625
負債純資産合計	42,958	43,875

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	9,514	8,200
売上原価	7,084	5,751
売上総利益	2,430	2,448
販売費及び一般管理費	2,939	2,778
営業損失(△)	△508	△329
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	30	32
負ののれん償却額	68	68
為替差益	90	—
その他	30	21
営業外収益合計	220	122
営業外費用		
支払利息	35	23
持分法による投資損失	6	—
退職給付会計基準変更時差異の処理額	75	75
為替差損	—	28
その他	15	15
営業外費用合計	132	142
経常損失(△)	△420	△349
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	3	—
貸倒引当金戻入額	—	14
特別利益合計	3	14
特別損失		
固定資産除却損	0	1
たな卸資産評価損	213	—
その他	—	0
特別損失合計	213	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△630	△336
法人税、住民税及び事業税	10	5
法人税等調整額	△271	△203
法人税等合計	△261	△198
少数株主損失(△)	△1	△18
四半期純損失(△)	△367	△119

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

該当事項がないため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。